



平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男子	平成28年8月2日	15:00 開始
3回戦	県立総合体育館大アリーナ	F

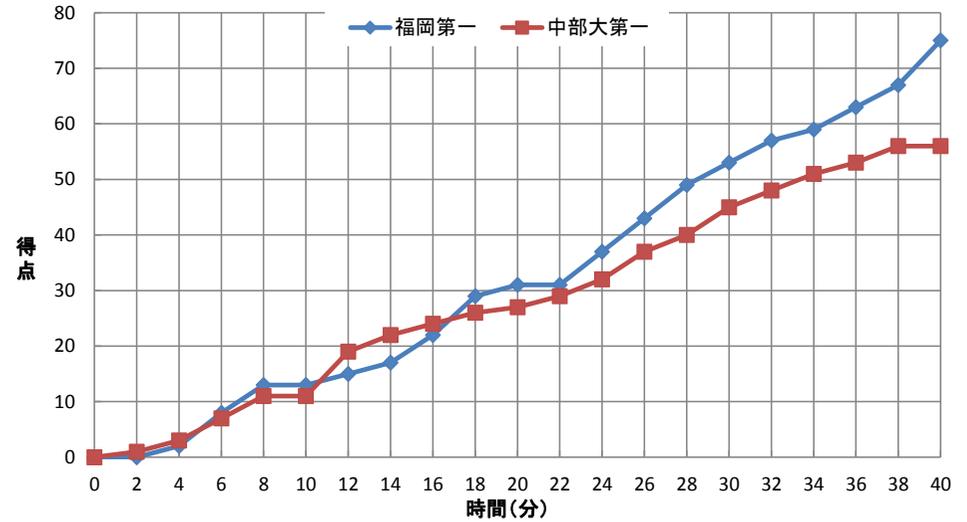
◎ 福岡第一 (福岡県)	75	<table border="1"> <tr><td>13</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>18</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>22</td><td>4th</td><td>11</td></tr> </table>	13	1st	11	18	2nd	16	22	3rd	18	22	4th	11	56	中部大第一 (愛知県)
13	1st	11														
18	2nd	16														
22	3rd	18														
22	4th	11														

番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	重富 周希	26	0	12	2	1	* 4	上澤 俊喜	6	2	0	0	1
* 5	重富 友希	6	0	3	0	3	5	石川 智章	-	-	-	-	-
6	松本 礼太	17	0	7	3	0	6	相原 圭吾	-	-	-	-	-
7	バムアングイ ジョナサン	3	0	1	1	2	* 7	ディクソン ジュニア タリキ	8	0	3	2	3
* 8	土居 光	8	0	4	0	3	* 8	王 伟嘉	11	0	4	3	1
9	古橋 正義	-	-	-	-	-	* 9	星野 京介	15	5	0	0	3
10	平子 啓太	-	-	-	-	-	* 10	坂本 聖芽	16	0	5	6	0
11	小野 絢喜	0	0	0	0	1	11	張本 正登	-	-	-	-	-
* 12	蔡 錦鈺	10	0	4	2	4	12	中村 拓人	-	-	-	-	-
13	吉居 大誓	-	-	-	-	-	13	矢澤 樹	-	-	-	-	-
14	井手 拓実	-	-	-	-	-	14	青木 遥平	-	-	-	-	-
* 15	松崎 裕樹	5	1	1	0	2	15	Boubacar N' diaye	0	0	0	0	1
コーチ	井手口 孝					0	コーチ	常田 健					0
Aコーチ	今井 康輔						Aコーチ	西村 彩					
合計		75	1	32	8	16	合計		56	7	12	11	9

主審: 富島健司

副審: 香野学

得点経過



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	15:20	:	24:57	34:45	37:37	:

〔 戦 評 〕

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンでゲーム開始。中部第一#10がアグレッシブなドライブインで福岡第一のディフェンスを切り裂いていく。与えられたフリースローを決め、中部第一が先制。その後は、インサイドプレーヤーである#8がパワープレイでチームを勢い付ける。福岡第一は、#4、#5を主軸にオフェンスを組み立て、スピードある展開を見せる。#18が確実にディフェンスリバウンドを取り、オフェンスに繋げていく。両チームとも激しいディフェンスをみせ、ロースコアな展開で第1Pを終える。

第2P、中部第一#4、#9が3Pを決め、オフェンスのリズムを掴んでいく。福岡第一のディフェンスの収縮を見逃さず、要所でアウトサイドにパスを送る中部第一#8の献身的なプレイが光る。それに対し、福岡第一は連携の取れたディフェンスローテーションで簡単にシュートチャンスを与えない。タイトなディフェンスに中部第一のシュートはリングに嫌われ、流れは福岡第一に傾き始める。福岡第一が若干リードを保ち前半終了。

第3P、福岡第一#4、#6が個人技を見せつけ、中部第一を突き放しにかかる。相手の流れを止めたい中部第一はタイムアウトを請求。その後、#9と#10にスクリーンをかけ、アウトサイドを中心に加点していく。しかし、その後は拮抗した状況が続き、点差は縮まらず第3P終了。

第4P、速い展開による点の取り合いが続く。何としても追いつきたい中部第一は、オールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、チャンスをうかがう。相手のこぼれ球を#9が3Pできっちり沈め、点差を縮めていく。中部第一はさらに、オールコートゾーンプレスやハーフコート2-3ゾーンを用いてプレッシャーを付け続ける。しかし、福岡第一#4、#5が冷静なゲームコントロール力を発揮し、大きく崩すことはできない。終盤、福岡第一は、オフェンスに時間を使いながら、#6、#8の連続得点で大きく点差を広げることに成功。力強さと速さを兼ね備えたディフェンスで、安定したゲーム運びを見せた福岡第一が準々決勝に駒を進め、ベスト8入りを決めた。

戦評: 西尾 友貴

記録: 広島女学院高校